



## 今日の表紙 第10回日光鉢石宿のおひなさま



2月11日(水・祝)～3月3日(火)に、JR日光駅～田母沢御用邸記念公園と、霧降地区、湯元温泉で「第10回日光鉢石宿のおひなさま」が開催され、約170軒の軒先などに雛人形やつるし雛が飾られました。

期間中、イベント会場の日光郷土センターでは、段飾り・つるし雛の展示やスタンプラリー、日光少年少女合唱団による手話を交えたコンサート、気軽にお雛様やお内裏様の衣装を着られる「着替えおひなさま」などが開催されました。訪れた観光客や市民は、さまざまなイベントを楽しんでいました。

千葉県などから訪れた大学生3人組の都築桜子さんは「宿泊先でこのイベントを知りました。初めて着物を着ましたが、日光旅行のとても良い記念になりました」とうれしそうに話してくれました。



2月20日(金)～3月6日(金)、きぬ姫まつりが開催されました。藤原総合文化会館では、イベントの一環として「きぬ姫飾り展示」行われました。会場には、鬼怒川・川治温泉旅館協同組合女将の会による手作りのつるし雛や、貴重なお雛さまなどが展示されました。長寿の象徴である鶴や亀、鬼怒川温泉のキャラクターなど、色とりどりの飾りを前に、訪れた人々



は感嘆の表情を見せていました。また2月21日(土)には、「きぬ姫お披露目会」が行われ、まつりのシンボルであるきぬ姫を一目見ようと、会場は多くの人でにぎわいました。実写版のきぬ姫となったのは市観光協会の川添莉代さん。きらびやかな衣装をまとうて登場し舞を披露しました。きぬ姫まつりは3月31日まで。お雛さま・つるし雛めぐりなども行われています。



2月22日(日)、今市文化会館で今市少年少女合唱団第33回定期演奏会が行われました。会場には、約500名が訪れ、団員を温かく見守っていました。第1部では「今市っていいな」他7曲を歌い、1年の成果を披露。第2部の創作オペレッタ「Dr. eamer」とびだせ笑顔の子供たち」では、ゲストの放浪の合唱作曲家、弓削田健介さんがミニコ



ンサーを開催しました。弓削田さんは団員とせりふを交わしながら、すてきな歌声を披露しました。合唱団キャプテンの氏家萌菜さん(中学3年生)は「この日のために、みんなで一生懸命練習してきたので、大成功してよかったです。私は、今回で最後になるので先生や保護者の皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです」と話してくれました。

## きぬ姫まつり

## 今市少年少女合唱団定期演奏会



晴天に恵まれたこの日、会場には縁起物のだるまや熊手、食べ物などの露店が立ち並び、大勢の人たちでにぎわいました。学習塾のメンバーと訪れた廣瀬里央さん(森友)は、「高校受験の合格祈願でだるまを買って来まし



た。花市には、毎年来ています」と答えてくれました。また、この日は「歩きたくなるまちづくり委員会」主催による、中心市街地散策スタンプラリーが開催されました。花市の会場の他に、同日開催の「全日本しもつかれコンテスト」会場や追分地藏尊など、計5カ所を回る内容のもので、達成者にはオリジナルの缶バッジがプレゼントされました。



2月11日(水・祝)～15日(日)、憾満ヶ淵および含満街区公園で、日光キャンドルページェント2015が開催され、延べ約8、500名が来場しました。会場には、約4、000個のキャンドルや文星芸術大学の学生たちによるキャンドルアートが灯されました。また、期間中毎日、江戸時代から続く「宗家花火鍵屋」に



よる色鮮やかな花火が打ち上げられ、観客は感嘆の声を上げていました。大橋さん(所野)は「このイベントのことは以前から知っていましたが、娘が帰省しているのので、今回初めて訪れました。キャンドルが幻想的でした」と話してくれました。

## 全日本しもつかれコンテスト



全日本しもつかれコンテストが、2月11日(水・祝)にショッピングプラザ日光で開催されました。

花市と同日に行われたこのイベントは、今回で15回目。今年はいままでの会場、「プラチナホームいまいち」から場所を移しての開催となりましたが、開場前から長蛇の列ができました。

コンテストには、市内外から腕自慢の29名が出品しました。試食した来場者たちによる投票の結果、第15代の鉄人に益子町の宮城さんが選ばれました。

宇都宮市から投票に参加した澤村明美さんと八木沢倫子さんは、「しもつかれは大好きです。どれも使っている材料や味が違ってました。好みの味のものが3つくらいありました」「今回で2度目の参加です。30分前に来たのですが、1時間30分待ちました」と、それぞれに味比べを楽しんでいました。



## 今市の花市

## 日光キャンドルページェント2015